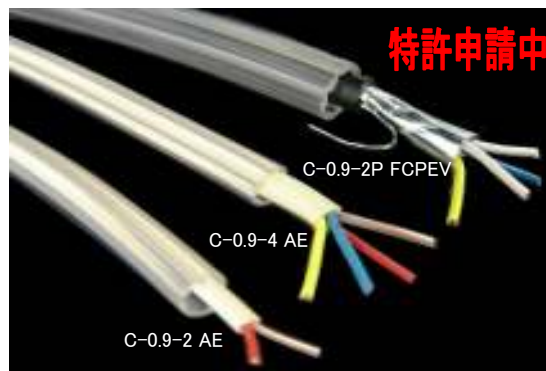


防護カバー付警報用ポリエチレン絶縁ケーブル 防護カバー付着色識別ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル

● 離隔対策製品の特徴

- ・ケーブル上へ防護カバー付構造とすることで、隔壁機能を有しております。
- ・離隔作業の作業効率向上が図れます。
- ・透明防護カバー構造のため、ケーブルを判別することができます。



● 離隔について(内線規定: JEAC 8001-2005 3102-7)

- ・住戸内における低圧配線と弱電流電線等との接近又は交叉する場合において、離隔について電気設備の技術基準第189条等諸法令によって、低圧屋内配線と弱電屋内配線等との離隔を10cm以上とする必要がある。
- ・ただし低圧屋内配線が300V以下の場合は弱電屋内配線等との間に絶縁性の隔壁を取付けるか、又は難燃性・耐水性のある絶縁管に収めて施設するときはこの限りではないとされる。
- ・それにより、弱電流電線等を敷設する場合、安全面と特性面から電力線等との離隔の確保が必要とされており、マンション等住宅内の現場では離隔距離を十分に取るか、弱電流電線をPF管に収容したりスパイラルチューブ等を巻いたりすることで対応しています。
- ・防護カバーを施すことによりこれらPF管やスパイラルチューブ等を施設することを解消し、作業効率向上を図ることが出来ます。

型式	C-0.65-2 AEオクナイ	C-0.9-4 AEオクナイ	C-0.9-2P FCPEV
	C-0.9-2 AEオクナイ		
断面形状			

種類		AEオクナイ線			FCPEV
サイズ×心数		0.65mm×2心	0.9mm×2心	0.9mm×4心	0.9mm×2P
心線(mm)	シース厚	0.18	0.21	0.21	0.23
	外径	1.01	1.32	1.32	1.36
ケーブル(mm)	シース厚	0.6	0.6	0.6	1
	外径	2.5×3.5	2.5×4	4.5	7
防護カバー(mm)	シース厚	1	1	1	1
	外径	6.5	7	7	10
重量(kg/km)		29	39	54	110